

米国におけるパワーエレクトロニクス機器製造会社の設立 北米市場における開発・製造・供給一貫体制の構築

東芝三菱電機産業システム株式会社(TMEIC)(社長:町田 精孝)は、米国テキサス州ヒューストンにパワーエレクトロニクス機器の製造子会社「TMEIC Power Electronics Products Corporation」を設立し、2014年秋より事業を開始します。新会社は、まず太陽光発電用パワーコンディショナの製造を手掛け、次いで2015年春にモータ駆動用大容量インバータの生産を開始する計画で、2015年度には2000万ドル(約20億円)、3年後の2017年度には5000万ドル(50億円)の売上高を目指します。

北米市場は、シェールガスの発掘を中心にオイル・ガス産業の活況が続いており、発掘から精製、パイプラインに至るまでの施設建設プロジェクトが多数進行中で、ポンプ等に適用されるモータ駆動用ドライブの需要拡大が予想されます。また、米国は太陽光発電用パワーコンディショナにおいて世界3位の市場規模を有し、特にメガソーラ(1,000kW以上の大規模太陽光発電施設)に適用されるパワーコンディショナの需要は今後も堅調に推移する見込みです。

このように継続的な成長が期待できる北米市場において、当社として中国・インドに続く製造子会社を設立することによりパワーエレクトロニクス製品の開発・製造・供給の一貫体制を構築するとともに、太陽光発電用パワーコンディショナ及びモータ駆動用大容量インバータの両製品について下記の当社戦略機種を投入することで、市場の需要拡大にタイムリーに対応していきます。

<新会社の製造機種>

1. 太陽光発電用パワーコンディショナ「SOLARWARE®」
北米安全認証規格 UL 対応※1、定格出力 630kW 機を生産開始し、リリース。
次いで、Intersolar Award 2014※2 受賞製品機種「SAMURAI」の15年度投入も計画しています。
2. モータ駆動用大容量インバータ「TMdrive-MVe2®」
北米安全規格 UL 対応※1、4kV系高圧モータ駆動用インバータ。(1)回生ブレーキ運転によるエネルギー回収と高い設備稼働率を実現する、(2)設置スペースと体積が最小となる、(3)メンテナンスコスト含むライフサイクルコストが最小となる、(4)クリーンな電源を維持できる、という4つの長所を持つ高機能なドライブ装置です。6kV系対応機種への展開も計画しています。

(TMdrive-MVe2®製品紹介:

<http://www.tmeic.co.jp/news/pressrelease/2014/pdf/20140226.pdf>)

※1 UL規格とはアメリカ保険業者安全試験所(Underwriters Laboratories Inc.:UL)が策定する製品安全規格。合衆国では個々の州政府により安全規則を制定し、自治体や行政組織に委任し運営することが多い。州や地方自治体レベルでUL認定を義務付けている例もある。当該製品はUL規格適合品を中心に展開。

※2 Intersolar Award 2014; 太陽電池関連では世界最大の展示会となる「Intersolar Europe」を主催するドイツ Solar Promotion 社が革新的な出展内容を表彰する。2014年は約3,500社の中から、「太陽光発電」、「欧州における太陽光発電プロジェクト」、「エネルギー貯蔵システム」の3つの分野でAwardを選出。

<新会社の概要>

商号	TMEIC Power Electronics Products Corporation
所在地	米国テキサス州ヒューストン
代表者	James Trexel
株主	当社 100%
資本金	450万 USドル
事業内容	太陽光発電用パワーコンディショナ、モータ駆動用大容量インバータ等の パワーエレクトロニクス機器の製造

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。